

講演実施受任講演会等

No	講演会名	講演者	講演日	依頼元	備考
1	ひとり暮らし学生のためのフォローアップミーティング「失敗しないアルバイト選び」	岩井 羊一	2017.04.13(木)	本学 学生課	
2	法律カフェ 「それは家族の責任なのか?」	田中 淳子 浅賀 哲	2017.05.25(木)	中部大学	
3	平成29年度 市民大学講座 春 (愛知学院大学連携講座)	浅賀 哲 國田武二郎 原田 保 岩井 羊一	2017.06.03(土) 06.10(土) 06.17(土) 06.24(土)	津島市	
4	学生のための安全管理講習会 「学生生活と法的責任」	田中 淳子	2017.06.23(金)	本学 学生課	
5	平成29年度前期 北生涯学習センター主催講座 愛知学院大学連携講座	國田武二郎 高橋 洋 榊原 志俊 原田 保 服部 育生	2017.07.06(木) 07.13(木) 07.20(木) 07.27(木) 08.03(木)	名古屋市 北生涯学習センター	
6	「にっしん おやこで ロースクール 2017」	全 教 員 チ ュ ー タ ー	2017.08.05(土)	日進市	
7	法律カフェ 「AI時代の法的責任について考える」	田中 淳子 浅賀 哲	2017.10.24(火)	中部大学	
8	学生のための安全管理講習会 「タイトル未定」	田中 淳子	2018.03.13(火)	本学 学生課	

法務支援センター 講演会等提供案一覧

氏名	浅賀 哲	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>交通事故と法律</b>		
対象	一般		
内容	交通事故に遭遇した場合の民事上の問題点について、講演する。過失相殺割合、損害賠償額の算定、保険制度の利用、裁判上の手続き等をテーマとする。		
演題	<b>債権回収と法律</b>		
対象	一般		
内容	債権管理がうまくゆかず、売掛金等の債権の支払を受けられない場合の各種民事手続きについて説明する。保全、裁判、執行、調停等の各種手続きの概要、留意点について言及する。		
演題	<b>契約書のチェックと法律</b>		
対象	学生・一般		
内容	契約書作成の手法、留意点等について説明する。民法典にある典型契約から、フランチャイズ契約、事業譲渡契約等の非典型契約等についても、具体的な契約書例等の紹介をする		
演題	<b>医療法概観</b>		
対象	学生・一般		
内容	医療関係法について、概観して説明する。医療従事者のコンプライアンス、医療過誤等の防止策についてケーススタディ型にて講演を実施する。		
演題	<b>倒産法概観(倒産時の初期対応)</b>		
対象	学生・一般		
内容	破産法、民事再生法、会社更生法等の概観を説明し、各種倒産手続きの理解の一助とすることを目的とする。債権者側の対応などについても、広くテーマとする。		
演題	<b>オワハラ</b>		
対象	学生・一般		
内容	①オワハラの具体例、②オワハラが社会問題化した背景、③簡単な定義付け、④問題が起こった時の対処法名をわかりやすく伝えることにします。		
演題	<b>18歳の選挙権行使について～高校生が日本の民主主義を担う～</b>		
対象	高校生		
内容	選挙権の行使・国民権・選挙の4原則・選挙活動・政策判断などを広くテーマとし、選挙権年齢引下げに伴う受講者参加型講演。		
演題	<b>18歳選挙権と教育</b>		
対象	教員		
内容	投票に向かう、生徒に対するメッセージ・教職員としての教育上の留意点の解説と具体的事案についての検討協議。		

氏名	岩井 羊一	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>ブラックバイト</b>		
対象	全学生		
内容	ブラックバイトをしない、やめるために ・ブラックバイトとは ・労働基準法の基礎 ・ブラックバイトで辞められないときにはどうする。(ブラックバイト弁護団の若手弁護士をゲストに迎えることも可能)		
演題	<b>ブラック企業</b>		
対象	就職希望の学生		
内容	ブラック企業に就職しないように ・ブラック企業とは ・労働基準法の基礎 ・ブラック企業を見分けるためには		
演題	<b>あなたも裁判員</b>		
対象	一般市民 教養をつけたい 企業 裁判員に従業員が呼ばれることについてどう対応するか		
内容	・裁判員裁判の概要 ・裁判員の義務 ・裁判員裁判の意義		

法務支援センター 講演会等提供案一覧

氏名	岩井 羊一	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>セクハラ・パワハラに注意</b>		
対象	企業経営者 人事担当 一般労働者		
内容	・セクハラの裁判例 ・パワハラの裁判例 ・セクハラ、パワハラの企業リスク ・セクハラ、パワハラを防止するために		
演題	<b>過労死を防止するために</b>		
対象	企業経営者 人事担当 一般労働者		
内容	・従業員が過労死になったらこんなに大変 ・過労死を防止するために		
演題	<b>解雇・残業代等、労働をめぐる問題</b>		
対象	企業経営者 人事担当 一般労働者		
内容	・従業員を解雇できる場合、できない場合 ・残業代 請求できる場合、できない場合		

氏名	梅田 豊	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>誤判・冤罪事件はなぜ起きるのか？</b>		
対象	一般		
内容	・日本の誤判・冤罪事例 ・誤判(冤罪)の原因は何か？ ・なぜやっていない人が自白するのか？		
演題	<b>正義とは何か？(刑事裁判の話)</b>		
対象	一般		
内容	・『DEATH NOTE』の夜神月は正義か？ ・そもそも犯罪とは何か？ ・ある人が犯罪を犯したことを誰がどうやって判断するのか？(刑事裁判の流れ)		
演題	<b>法とは何か？</b>		
対象	一般		
内容	・法は人間関係を規律する規範(ルール)の一種 ・理知(理性)はやっかいもの？ ・法(規範)はどうやって創られてきたか		

氏名	國田 武二郎	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>メンタルヘルス不調者を巡る法的諸問題について</b>		
対象	一般		
内容	副題(とりわけパワハラメントについて)		

氏名	榊原 志俊	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>通達の意義と効力</b>		
対象	学生、一般		
内容	通達には、どのようなものがあり、どのような効力があるか		
演題	<b>裁量基準の意義と効力</b>		
対象	学生、一般		
内容	裁量基準とは何か、どのような効力があるか		

氏名	高橋 洋	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>立憲主義とは何か</b>		
対象	学生、一般		
内容	その成り立ちと現状を考える		
演題	<b>個人と国家の関係</b>		
対象	学生、一般		
内容	国民は国に対して何を求めることができるか		

法務支援センター 講演会等提供案一覧

氏名	高橋 洋	講演・研究会区分:	講演
演題	選挙権で世界が広がる		
対象	学生、高校生		
内容	18歳選挙権の意義について考える		

氏名	田中 淳子	講演・研究会区分:	講演
演題	市民社会と法		
対象	中学生～大学1年生		
内容	・物品の購入、バイト等の契約上のトラブル ・インターネットを通じた通信販売 ・悪徳商法被害の実態とその対応		
演題	18歳と法律問題「日常生活と法」		
対象	学生、一般		
内容	特に、日常生活に密接な関係を持つ民法の世界を知ろう 朝起きてから夜寝るまで、この世に生を受け、死に至るまで目にはみえない民法の網に包まれていることをいろいろな事例を取り上げながら解説		
演題	120年ぶりに民法が変わる！		
対象	中学生～大学生、一般		
内容	この通常国会で120年ぶりに民法が大改正される。日常生活にどのような影響があるか、みじかな話題を取り上げながら優しく解説		
演題	親子、夫婦、相続。家族をめぐる法律問題		
対象	中学生～大学生、一般		
内容	家族をめぐる法律問題をQ&Aで解説		
演題	土地をめぐる法律問題		
対象	一般、不動産を扱う専門士業		
内容	不動産取引、賃貸借契約上の問題から、相隣関係、境界・筆界問題、登記等の制度について事例を取り上げてわかりやすく解説。対象に応じて関連する問題を取り上げる。		
演題	スポーツと法		
対象	中学生～大学生、一般		
内容	スポーツするのは、「権利」？ 危険なスポーツへ参加は自己決定権？ スポーツと権利の関係や、スポーツ指導者の法的責任等、スポーツを法、法律を通してみつめてみよう。スポーツ事故判例や近時のスポーツを取り巻く法的諸問題を紹介		

氏名	初川 満	講演・研究会区分:	講演
演題	国際組織としての国連		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	主に国連について、機能や権限などを見ていこう。		
演題	国連による平和維持		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	国連は、平和維持のために何ができ、どのようなことをして来たのかを見ていこう。		
演題	戦争の違法化		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	国際紛争の究極の解決手段としての戦争は、どう国際法上評価されているのであろうか。		
演題	領土と海の支配		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	土地や海は誰のものなのか？ 領土や領海、EEZなどを例に考えてみよう。		

法務支援センター 講演会等提供案一覧

氏名	初川 満	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>「人権」って、何だろう</b>		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	人権は、どのような歴史を経て、今日のようなものとなったのであろうか。		
演題	<b>国際的人権保障システムについて、自由権規約を例に見て行こう</b>		
対象	高校、大学、一般（対象とする者にレベルを合わせる）		
内容	国籍に関係なく人を同じ人間として保護するために、国際社会が考え出した手法を自由権規約を例にして見て行く。		
演題	<b>テロの法的規制</b>		
対象	大学生、一般		
内容	国際社会は、いかにテロの法的規制を行ってきたかを、歴史的視点から考えてみよう。		
演題	<b>医療倫理としての法</b>		
対象	大学生、一般		
内容	医学研究や医療は、法的手段のみならず行政機関による通知などによって規律され、また国際規範や学会の指針などもソフト・ローと呼ばれ守るべき規範として認識されている。ソフト・ローを含めた医療の世界において遵守すべき社会規範としての法について考えてみよう。		

氏名	服部 育生	講演・研究会区分:	講演
演題	<b>株主総会の実際</b>		
対象	学生、一般		
内容	株主総会の開催にかかわる法的諸問題		
演題	<b>株式会社の仕組み</b>		
対象	学生、一般		
内容	株式会社はどのように作られ、どのようにして運営されるか。		
演題	<b>商品の販売と独占禁止法</b>		
対象	学生、一般		
内容	カルテル及び不公正な取引方法		
演題	<b>インサイダー取引</b>		
対象	学生、一般		
内容	株式投資とインサイダー取引規制		
演題	<b>取締役の報酬と責任</b>		
対象	学生、一般		
内容	取締役の報酬・責任をめぐる実務で生じる問題		
演題	<b>株主代表訴訟</b>		
対象	学生、一般		
内容	株主はどのようにして取締役の責任を追及しうるか		
演題	<b>合併比率の不公正と株主</b>		
対象	学生、一般		
内容	合併比率はどのように算出されるか		
演題	<b>独占禁止法の課徴金制度</b>		
対象	学生、一般		
内容	独占禁止法違反行為に対する課徴金はどのようにして算定されるか		

法務支援センター 講演会等提供案一覧

氏名	服部育生	講演・研究会区分:	講演
演題	敵対的企業買収とその防衛策		
対象	学生、一般		
内容	買収防衛策はどこまで許容されるか		

氏名	原田保	講演・研究会区分:	講演
演題	警察官による武器使用		
対象	一般、高校生		
内容	・適法か違法かはどのように判断されるのか ・過去の事件においてどのように判断されたのか		
演題	量刑		
対象	一般、高校生		
内容	・どのような事情をどのように考慮して判断するべきか ・判例・学説は適切か		
演題	危険運転致死傷罪		
対象	一般、高校生		
内容	規定の内容は適切か		
演題	ストーカー規制法		
対象	一般、高校生		
内容	規定の内容は適切か		

## 提供講演（パッケージ）

対 象：一 般

講演タイトル (講師名)	「 <b>家族と法</b> 」 (※田中淳子・國田武二郎・岩井羊一) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	家族をめぐるトラブルが生じた場合、それはどのようなルールで解決されるのか。誰しもの関わる領域の問題について、あらかじめ解決のしくみやルールを知っておくことが紛争自体から身を守ることになる。家族をめぐる法律問題について、具体的な事例を通じて、分かりやすく解説することにする。
講演のねら い・獲得目標	家族関係をめぐってどのような法的問題が生じるのか、そして、それがどのように解決されるのか。裁判例等の具体的な実例を用いながら実践的な解説を行うことで、法的思考を身に付けていただきたい。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 夫婦・親子の法的関係             <ol style="list-style-type: none"> <li>①夫婦の権利・義務 婚姻費用、離婚に伴う財産分与、慰謝料などの法的問題</li> <li>②親子の権利・義務 養育費、親権の帰属、面会交流などの法的問題</li> </ol> </li> <li>2 DV・虐待の法的諸問題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①DV被害の現状と法的対応</li> <li>②虐待の法的規制</li> </ol> </li> <li>3 相続の諸問題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①相続人の権利・義務</li> <li>②相続法の改正について</li> </ol> </li> </ol>

講演タイトル (講師名)	「 <b>裁判と法</b> 」 (※梅田豊・國田武二郎・浅賀哲・岩井羊一) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	裁判についての基本的な考え方を概説し、模擬裁判の経験を通して、裁判実務への理解を深める。
講演のねら い・獲得目標	裁判員裁判が実施されてから8年が経過しているが、国民の裁判に対する理解は一般にはまだ不十分であると思われる。本講演では、裁判の基本的な考え方について、法律実務家の実際の経験に基づくエピソードを踏まえて、分かり易く解説するとともに、模擬裁判を通して、裁判への理解を深めてもらいたい。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 裁判の意義について             <ol style="list-style-type: none"> <li>①裁判とは</li> <li>②民事裁判と刑事裁判の違い</li> <li>③裁判への市民参加</li> </ol> </li> <li>2 裁判に関わる人たち             <ol style="list-style-type: none"> <li>①裁判官の役割</li> <li>②検察官の役割</li> <li>③弁護士の役割</li> </ol> </li> <li>3 模擬裁判の実施             <ol style="list-style-type: none"> <li>①刑事裁判の基本原則</li> <li>②裁判員の役割</li> </ol> </li> </ol>

対 象 : 一 般 ・ 学 生

講演タイトル (講師名)	「日常生活と法」 (※浅賀哲・田中淳子・岩井羊一) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	私人が直面する可能性がある日常的な民事問題をテーマに、法的紛争の解決方法について講演する。個人の権利行使が重要である反面、社会生活において各人がその権利を実現していくには、どのような社会の仕組みが必要なのか等について具体例に即して考察する。また、実際の裁判の手続についても講演を予定している。
講演のねら い・獲得目標	日常的な問題から、債権債務、物権といった、私権について考察する機会とする。あわせて、受講生には裁判制度にも関心を抱いてもらい、紛争を解決する視点、考え方の涵養を図りたい。また、多数人による相続関係が生じているにもかかわらず、未登記であるなど、日本が今直面している土地取引の難問についても、一緒に考察したい。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 交通事故の法律問題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①交通事故と刑事責任</li> <li>②交通事故と民事責任</li> <li>③交通事故紛争の解決</li> </ol> </li> <li>2 日常生活と近隣トラブル             <ol style="list-style-type: none"> <li>①相隣関係・境界問題の基本</li> <li>②マンション等の区分所有権に関わる諸問題</li> </ol> </li> <li>3 土地・建物取引の法的諸問題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①民法改正と不動産取引</li> <li>②民法改正と賃貸借契約</li> </ol> </li> </ol>

講演タイトル (講師名)	「仕事・就職と法」 (※岩井羊一・國田武二郎・浅賀哲・高橋洋) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	働く人の人権と具体的な労働法の知識を深める。
講演のねら い・獲得目標	働き方改革、ブラックバイト、ブラック企業、過労死、非正規雇用など、労働を巡る状況は様々な議論がある。労働について一般的な知識を学ぶとともに、学生、一般人が今必要な具体的な労働法の知識を学ぶ
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 勤労者の人権             <ol style="list-style-type: none"> <li>①勤労の権利と勤務条件の保護</li> <li>②労働基本権の保障と労働組合の社会的責任</li> <li>③働く人を大事にすることの意義</li> </ol> </li> <li>2 労働者（アルバイト）の権利             <ol style="list-style-type: none"> <li>①労働基本権の意義</li> <li>②労働法の諸原則</li> <li>③就業規則の諸問題</li> </ol> </li> <li>3 派遣労働の諸問題             <ol style="list-style-type: none"> <li>①正規社員と派遣社員の違い</li> <li>②派遣労働の経緯・現状と展望</li> </ol> </li> <li>4 職場環境と法             <ol style="list-style-type: none"> <li>①パワハラ・セクハラの法律問題</li> <li>②オワハラの法律問題</li> <li>③過労死等の法律問題</li> </ol> </li> </ol>



講演タイトル (講師名)	「 <b>成年年齢と法</b> 」 (※高橋洋・浅賀哲・田中淳子・原田保) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	人は成長の過程で成年年齢という一定の年齢を境に一人前の大人として扱われるようになり、権利が認められる反面、保護が打ち切られる。現代日本においてその年齢をいくつに設定すべきかを、権利と保護の両面から考える。
講演のねらい・ 獲得目標	この成年年齢に近い人には、成年として扱われることによって認められる権利の内容とそれに付随する責任がいかなるものかを理解してもらうとともに、様々な分野で未成年に対してなされている保護の意味内容を考えてもらうことを期待したい。また一般の方たちには、とりわけ後者の、未成年者への保護（それには権利の制限がつきまとう）がどこまで必要か、健全な「大人」を育てていくための社会（成年者）の責任をともに考えることを目標とする。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 成年年齢と選挙権 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 民主主義と選挙制度・・・代表を選ぶということ</li> <li>② 18歳選挙権の意義と課題・・・18歳、19歳の約200万人の権利</li> <li>③ 学校教育と選挙活動・・・教育課程と政治活動</li> </ol> </li> <li>2 成年年齢と私法上の法的責任（権利・義務の内容） <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自己決定と自己責任と18歳成年制</li> <li>② 問題1 契約と成年</li> <li>③ 問題2 不法行為と成年</li> <li>④ 問題3 家族をめぐる問題と成年</li> </ol> </li> <li>3 成人年齢と刑事法 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 刑事法における少年と成年の境界</li> <li>② 刑事法における責任能力</li> </ol> </li> <li>4 成人年齢と少年法 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 我が国の少年法の基本的な考え方</li> <li>② 少年法改正の要否</li> </ol> </li> </ol>

対 象 : 一 般 ・ 学校関係者

講演タイトル (講師名)	「学校生活と法」 (※梅田豊・高橋洋・榊原志俊) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	学校生活における法的諸問題について現状と課題を総合的に検討する。
講演のねら い・獲得目標	近年、学校生活（特に小中高校）において様々な人権問題が生じている。いじめや体罰に対する学校や教育委員会の対応について批判が向けられることも多い。それらの諸問題について法的側面から総合的に分析し、具体的な対応策を検討したい。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 体罰・いじめ問題と法的責任             <ol style="list-style-type: none"> <li>①体罰の法的位置付け</li> <li>②いじめの法的責任</li> <li>③体罰・いじめに対する法的対応の現状</li> </ol> </li> <li>2 学校生活と子どもの人権             <ol style="list-style-type: none"> <li>①子どもにとっての学校・・権利と「義務」の二面性</li> <li>②学校における規律の必然性と限界</li> <li>③校則と児童・生徒の人権</li> </ol> </li> <li>3 教育委員会の役割             <ol style="list-style-type: none"> <li>①教育委員会の権限</li> <li>②教育委員会の現状</li> </ol> </li> </ol>

対 象 : 一 般 ・ 宗教及び葬祭関係者

講演タイトル (講師名)	「葬送をめぐる法的諸問題」 (※高橋洋・原田保・田中淳子) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	近時「葬送」の在り方は多様であり、「葬送の自由」を強く主張されている。しかし、死者の意思、遺族の意思であっても、葬送の自由が無制限に認められているわけではない。この問題は優れて法律問題である。この点について、憲法・刑法・民法の法領域から葬送の自由と葬送の現状の問題について解説をする
講演のねら い・獲得目標	どのような弔いを望むか、という葬送選択につき自己決定、幸福追求の問題について憲法学から、撒骨や手元供養の適否等について刑法学から、祭祀の承継と遺言・相続の問題について民法学から、各々問題点を明らかにし、正しく判断するために必要な知識・理解の獲得をめざす。
講演概要	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 葬送と憲法             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 葬送の権利と義務                 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 死者の権利</li> <li>(2) 生者の権利と義務</li> </ol> </li> <li>2. 政教分離と公的追悼</li> </ol> </li> <li>2 葬送と刑法             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 死体に関する法令の規定</li> <li>2. 葬送に関する刑法の論理</li> <li>3. 新たな葬法の問題点</li> </ol> </li> <li>3 葬送と民法             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 祭祀の承継と民法</li> <li>2. 墓地をめぐる民法上の問題</li> <li>3. 遺言と葬送をめぐる問題</li> </ol> </li> </ol>

対 象 : 企 業 ・ 自 治 体

講演タイトル (講師名)	「 <b>企業ガバナンスと法</b> 」 (※服部育生・浅賀哲・岩井羊一・國田武二郎) ※は責任者
講演の主題・ テーマ	企業法務に必要な法知識を、会社法、契約法および労働法の観点から、制度・実務の両面にわたって解説する。
講演のねら い・獲得目標	企業経営に伴う法的トラブルに巻き込まれないように、法的リスクを最小限に抑えるという視点から、有用な法知識および問題解決の筋道を理解してもらう。
講演概要	<p>1 コーポレート・ガバナンス</p> <p>①株主総会の役割と運営 株主の質問権と取締役の説明義務、議長の議事整理、書面投票・電子投票、委任状勧誘、株主の権利行使に関する利益供与、議決権を行使する代理人の資格</p> <p>②取締役の経営判断 経営判断の原則、法令違反の範囲と過失、信頼の原則、不祥事発覚後の対応、監視・監督義務、内部統制システム構築、子会社管理についての責任、親子会社間の利益相反取引</p> <p>2 契約書のチェックと法律</p> <p>①契約審査の視点 ②戦略的法務 ③裁判・強制執行・倒産の諸問題 ④債権回収の諸問題</p> <p>3 労使関係の諸問題</p> <p>①労使関係の基本原則 ②パワハラ・セクハラへの対処 ③長時間労働の問題 ④両立支援</p>

対 象 : 医 療 関 係 者

<p>講演タイトル (講師名)</p>	<p>「医療倫理としての法」 (初川満)</p>
<p>講演の主題・ テーマ</p>	<p>本講義では、医療従事者に対し、最低限理解すべき行為規範あるいは行動指針としての法について、考えてみたい。</p>
<p>講演のねら い・獲得目標</p>	<p>法は、利害が衝突する複雑な社会において、どの利益をどこまで認めるか、どこまで規制するか、などといった社会的判断を、強制力をもって示すものである。そして、医療に関する法は、患者のみならず医療従事者もその保護の対象とする。</p>
<p>講演概要</p>	<p>1 医療倫理としての法              ①法とは、いかなるものか              ②医療行為者を取りまく規範              ③医療行為の規律する社会規範としての法              ④倫理委員会について              [ 医療における倫理規範としての法について考える。ここでは医療水準やハード                ロー・ソフトローなどを扱う。 ]</p> <p>2 医療行為と法              ①医療事故とは              ②医師と患者の権利と義務              ③自己決定権とインフォームドコンセント              ④医療過誤              [ 医療事故とはいかなるものかを考える。ここでは、特に医師の説明責任や患者の                同意などを詳しく扱う。 ]</p> <p>3 医療過誤の法的処理              ①刑事責任について              ②行政責任について              ③民事責任について              ④裁判外紛争処理について              [ 医療過誤の法的責任について、刑事責任・行政責任・民事責任について分けて考                える。 ]</p> <p>4 医療個人情報と法              ①医療情報の保護              ②医療情報の第三者利用と患者の同意              ③医療個人情報の保護法              ④個人情報保護法とガイドライン              [ 医療個人情報の取り扱いについて、具体的に法規定を示しながら、いかなる点に                留意すべきかを考える。 ]</p>